

2024年6月28日
とうほう証券株式会社

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に係る成果指標（独自KPI）並びに
「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の公表について

とうほう証券株式会社（社長：須藤英穂）は、2017年6月26日に制定・公表いたしました「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に係る成果指標（独自KPI）並びに「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」を公表いたします。

基本方針に基づく具体的な取組状況につきまして、お客さまにより分かりやすく確認いただけますよう、定期的に公表してまいります。

今後とも、東邦銀行グループ一体となり、お客さまの資産形成および資産運用に係る業務におきまして、常にお客さま本位の業務運営を徹底してまいります。

1. お客さま本位の業務運営

<基本方針 1> お客さま本位の業務運営

- (1) 高い専門性と倫理観を保持し、誠実・公正にお客さまへの商品・サービスの提供を行い、法令等に従い適切にお客さま本位の業務を徹底してまいります。

<2023年度具体的取組方針>

- (1) 役職員はお客さまの最善の利益を実現する企業文化定着のため、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づき、お客さま本位の業務運営に取り組んでまいります。
- (2) 「お客さま本位の業務運営」については、実施状況や定着度合を定期的に「お客さま本位の業務運営委員会」に報告し取組内容や改善策を協議します。また、取組状況・K P I（成果指標）を原則年1回公表します。
- (3) お客さま本位の業務運営を実現させるため「取組方針」については、業務運営の状況や環境変化に応じて、定期的に見直してまいります。

<2023年度取組状況>

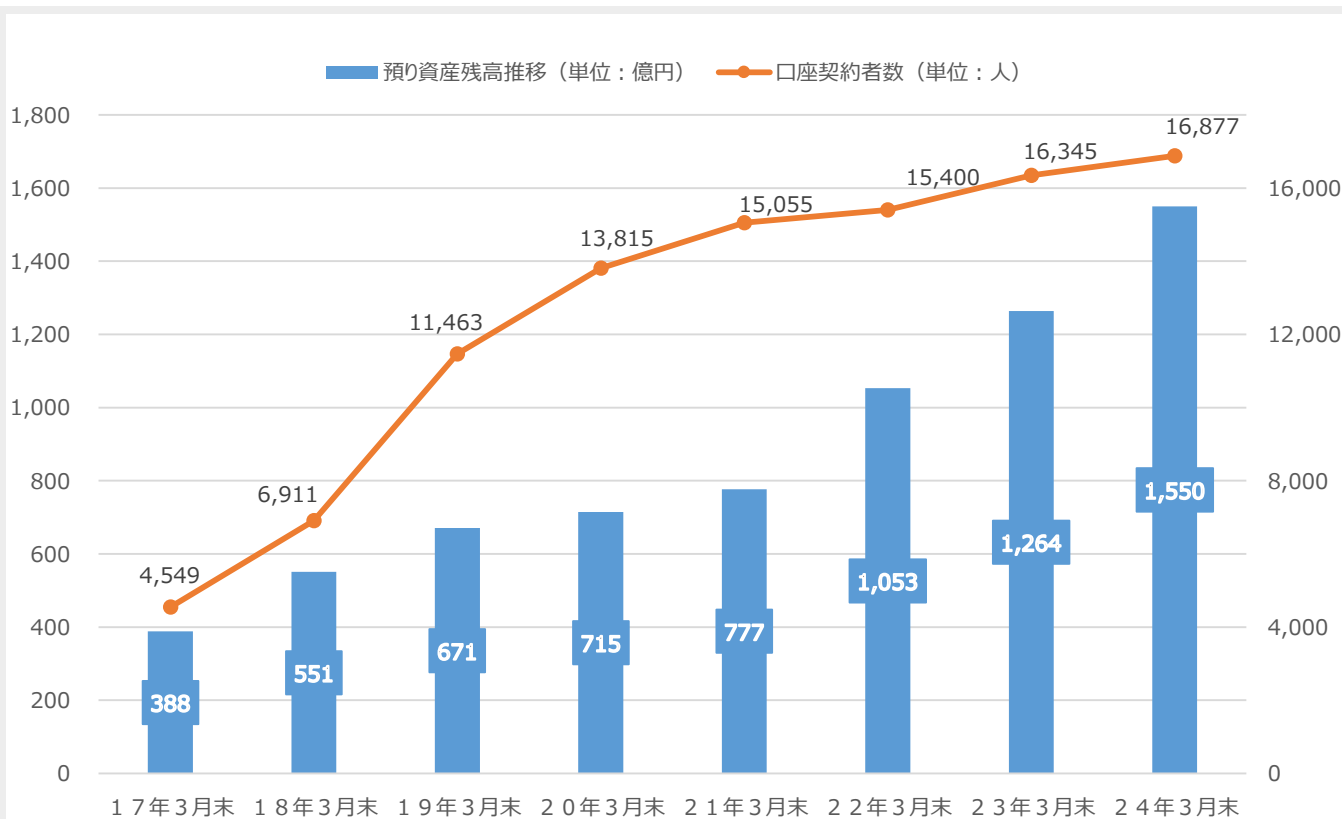
- (1) 当社における「お客さまの最善の利益」とは、お客さま一人ひとりの異なる想いを実現することと考えます。お客さまの想いを実現するために、お客さまの声に耳を傾け、お客さまに寄り添い、誠実・公正に取り組んでいくことで、地域社会に貢献する銀行グループであり続けることを目指します。
- (2) 「お客さまの最善の利益」を実現するため、上記取組みを実施した結果、預り資産は1,550億円（前期比+286億円）、口座契約者数は16,877人（前期比+532人）となり、着実に増加しております。
- (3) 「お客さま本位の業務運営」については、「お客さま本位の業務運営委員会」を4回開催し、「具体的な取組方針」の実施状況や取組内容に関する改善策等を協議いたしました。
- (4) 「お客さま本位の業務運営」を実現するため、基本方針に基づき、2024年度の「お客さま本位の業務運営」の具体的取組方針を2024年4月に公表しております。
- (5) 基本方針に基づく具体的な取組状況について、お客さまにより分かりやすく確認できるような指標（K P I）を毎年6月に公表しております。

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」

- ・原則2【顧客の最善の利益の追及】に該当します。

1. お客さま本位の業務運営

預かり資産残高、契約者数の推移



2. お客さまの利益を守る利益相反の適切な管理

＜基本方針 2＞ お客さまの利益を守る利益相反の適切な管理

- (1) お客さまの利益が不当に損なわれないよう、当行が定める「利益相反管理方針」に従い、適切に利益相反の管理を行ってまいります。

＜2023年度具体的取組方針＞

- (1) 当社グループ内およびお客さまとの間で利益相反を発生させる可能性のある取引を「利益相反管理方針」等に基づき特定・類型化し、お客さまの利益が不当に損なわれないよう適切な管理を行います。

＜2023年度取組状況＞

- (1) 利益相反取引に関しては、本部によるモニタリング等を通じて利益相反の適切な管理を実施しております。
- (2) 当社では同一グループに属する別の会社が組成する商品の提供はありません。

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」

・原則 2【顧客の最善の利益の追及】・原則 3【利益相反の適切な管理】に該当します。

3. お客さまへの情報提供の充実

<基本方針3> お客さまへの情報提供の充実

- (1) ご提案する商品・サービスの仕組みや特徴について、お客さまの金融知識等に配慮したうえで、明確かつ平易な言葉で、お客さまの立場に立って分かりやすくご説明してまいります。
- (2) 商品・サービスの説明にあたっては、重要な情報が記載された分かりやすい資料の活用に努めてまいります。

<2023年度具体的取組方針>

- (1) 「重要情報シート」を活用しながら、お客さまに重要な情報について分かりやすく丁寧に説明します。
- (2) ご提案する投資信託の基準価格実績等については、販売説明資料等に加え「タブレット」も活用することにより、より分かりやすい説明を行います。
- (3) お客さまの資産運用や将来設計の指針が分かりやすくシミュレーションできる「ロボアドバイザー」機能を当社ホームページ上に掲載し、視覚的な情報提供を行います。
- (4) お客さまへの情報提供のための冊子を定期的に提供します。
- (5) お客さまの金融リテラシー向上に資するため、投資環境等を題材とした「セミナー」を対面式やオンラインで開催します。
- (6) 感染症拡大時や災害時でも「オンライン面談」ツールを活用し、安心してご相談いただける態勢を強化していきます。
- (7) 商品・サービスをパッケージとして提案・販売する場合は、個別に購入することが可能であるか否かを示すとともにパッケージ化する場合としない場合を比較することができるよう、それぞれの重要な情報を提供します。

<2023年度取組状況>

- (1) 重要情報シート「金融事業者編」および「個別商品編（投資信託46ファンド68本、2024年3月末時点）」を活用し、分かりやすく丁寧に説明しております。
- (2) タブレットの活用によりリアルタイムでのマーケット情報やファンドの詳細など視覚的に分かりやすい説明を丁寧に実施しております。
- (3) 2023年6月「ロボアドバイザー」のサービス終了に伴い、当社ホームページ上に記載している「のむらっぴを活用した投資スタイル診断」のお客さまの資産運用や将来設計の指針が分かりやすくシミュレーションできる機能により、視覚的な情報提供を行っております。
- (4) お客さま向け情報冊子「とうほう週報（週次）」「当面の投資環境・投資環境資料集（月次）」「ビュッフェ（随時）」等により、グラフや図表などを利用しながら、マーケットの状況等を分かりやすく説明することに努めております。
- (5) お客さまの金融リテラシー向上に資するため、セミナーを開催しました。
 - A. 福島大学提供講座
2023年4月24日（オンライン講座）
 - B. とうほう証券投資セミナー【当社独自】
2023年10月3日～10月10日（オンライン配信セミナー）
 - C. 新春資産運用セミナー【当社・銀行共催】
2024年1月27日～28日（対面セミナー／福島県内5カ所）
- (6) 感染症拡大時や災害時でも安心してご相談いただける態勢強化のため「オンライン面談」ツールを導入しております。
- (7) パッケージ化して提案・販売する商品・サービスについては、個別に購入することが可能であるか否かとパッケージ化する場合としない場合を比較することができるよう重要情報シートにてお知らせしています。

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」

・原則5【重要な情報の分かりやすい提供】に該当します。

3. お客さまへの情報提供の充実

オンライン面談

気軽に・安全に・簡単に接続できる
『オンライン面談』はいかがでしょうか？

インターネットに接続できるパソコン・タブレット・スマホがあればご自宅や勤務先・外出先など「いつでも」・「どこでも」ご面談が可能です！

- 遠方でも悪天候でも移動時間なく、すぐに面談可能！
- 面談場所はどこでもOK！
- 顔が見えて安心な上に感染症リスクもなし！

「初めてのオンライン面談は不安」というお客さまもぜひ一度ご利用ください！

Q. セキュリティ面は大丈夫？
A. 大手企業や金融機関など3,000社以上で採用されている安全なシステムです。ご安心ください。
Q. 準備や設定・操作は難しい？
A. 事前のご準備は不要です。アカウント登録やアプリのダウンロードも必要ございません。
※ご利用の際は、営業店担当者までお申し付けください。

とうほう証券

とうほう証券 とうほう証券株式会社 金銭商品取引業者 東北信託業務員(証券)第36号
（加入機関） 日本証券業協会 〇コールセンター http://toho-sec.co.jp/

とうほう証券

営業支店	仙台支店	盛岡支店	いわて支店	東京支店
〒980-0833 盛岡市大町2-5 TEL: 019-224-3300	〒981-0824 仙台市青葉区1-58 TEL: 022-249-8888	〒990-0822 盛岡市大町1-10-28 TEL: 019-224-8888	〒990-0822 盛岡市大町1-10-28 TEL: 019-224-8888	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-3 TEL: 03-5561-2000

ロボアド&シミュレーション

とうほう証券

※2023年6月サービス終了

ロボアド&シミュレーション

「何をどこで買えばいいの?」の不安と悩みを解消
5つのツールであなたの投資運用をお手伝い
最先端のテクノロジーを使用した
新時代の投資情報サービス

ロボアド

のむらップファンド診断

のむらップ・ファンドのご紹介

あなたに合った投資スタイルを見つけよう
投資スタイル診断

NOMURA のむらップ・ファンド

今注目のトップサービスを多数ご紹介します!

のむらップ 投資型
のむらップ やや保守型
のむらップ 株投資
のむらップ やや成長型
のむらップ 商品型

情報冊子 (週報)

TOHO SECURITIES

WEEKLY REPORT
とうほう週報
＜オピニオン＞ 良い円安 / 悪い円安 再考

オピニオン

円安懸念が続いている。米債においてCPIの高止まりや、米連邦準備銀行の利上げペースの鈍化など、市場では円安懸念が再び高まっている。円安は、円相場が1ドル150円/円を突破し、150円、160円、170円/円を突破し、2023年9月15日現在の円相場は1ドル175円/円を突破し、一時180円/円を突破した。円安は、円相場が1ドル175円/円を突破し、一時180円/円を突破した。円安は、円相場が1ドル175円/円を突破し、一時180円/円を突破した。

CONTENTS

【目次】 良い円安 / 悪い円安 再考
・マーケットインサイト
・グローバル・マーケット
・今週のトピック
・取材リポート
・大企業 決算発表要約集

とうほう証券

5/20
2024 (第5905号)

2024年5月17日発行
野村證券 投資情報部作成

情報冊子 (月報)

TOHO SECURITIES

6
2024
当面の投資環境
～マーケット・ビュー～

とうほう証券

野村證券株式会社 投資情報部 作成

オンラインセミナー

とうほう証券『投資セミナー』

グローバル相場展望と
今後の投資戦略

講師：野村アセットマネジメント株式会社
シニア・ストラテジスト
石黒 英之 氏

【プロフィール】
1977年11月生まれ。愛知県名古屋出身。事業会社を経て、2004年より野村証券に入社。13年連続して、06年から15年連続してアナリスト業務に従事。2021年より野村アセットマネジメントに入社。テレビ東京「Newsモーニングサテライト」等多数出演

配信期間
2023年10月3日(火) 9:00
～
2023年10月10日(火) 20:00

〇とうほう証券で取扱商品が預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、とうほう証券が元本を保障するものではありません。
〇とうほう証券で取扱商品が、金利・為替・株式市場等の変動や有価証券の発行者の業務または財産の状況の変化等により価格が下落し、損失が生じるおそれがあります。また、お取引による損失はお客さまご自身に帰属します。お取引は、お客さまご自身の責任と判断で行っていただきますようお願いいたします。

とうほう証券

〇電話番号：とうほう証券株式会社 金銭商品取引業者 東北信託業務員(証券)第36号
〇加入協会：日本証券業協会
〇ホームページ：https://toho-sec.co.jp

新春セミナー

東邦銀行・とうほう証券 共催

新春
資産運用
セミナー

テーマ どうなる!? 2024年のマーケット展望
～おさえておきたい投資のポイント～

講師 日興アセットマネジメント株式会社

5会場日程

福島	【日時】 1月27日(土) 10:00～11:30 【会場】 コラッセくしま 5F 小研修室 【定員】 50名
郡山	【日時】 1月27日(土) 10:00～11:30 【会場】 郡山市労働福祉会館 中ホール 【定員】 50名
会津	【日時】 1月27日(土) 14:00～15:30 【会場】 アビオスペース 大会議室 【定員】 50名
白河	【日時】 1月27日(土) 14:00～15:30 【会場】 マイクタウン白河 B1 大会議室 【定員】 50名
いわき	【日時】 1月28日(日) 10:00～11:30 【会場】 パルスイわき APT8 【定員】 50名

【お申し込み・お問い合わせ】 フリーダイヤル 0120-14-8656
セミナーに参加ご希望の方はお近くの東邦銀行窓口までお申し込みいただくか、お電話でお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。
【お申込電話受付時間】 各支店：平日9:00～17:00 フリーダイヤル/平日9:00～17:00、土日9:00～16:00
※参加費は無料です。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください!

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」
・原則5【重要な情報の分かりやすい提供】に該当します。

4. お客さまサービス対価の透明性向上

<基本方針4> お客さまサービス対価の透明性向上

(1) お客さまにご負担いただく手数料等については、透明性を高めるとともに、お客さまにご理解いただけるよう、分かりやすく丁寧に説明してまいります。

<2023年度具体的取組方針>

- (1) 投資信託の手数料等については、お客さまが投資する際の重要な情報の一つであることから、「ファンドカタログ」、「目論見書」および「販売説明資料」を利用して、提案の都度、丁寧に説明します。
- (2) 「重要情報シート」を活用しながら、お客さまにご負担いただく手数料等について分かりやすく丁寧に説明します。

<2023年度取組状況>

- (1) 商品説明の際には、重要な情報（リスク・リターンや手数料率、元本割れリスクの要因等）が記載された分かりやすい資料を使用し、分かりやすい説明を丁寧に実施しております。
- (2) 重要情報シート「金融事業者編」および「個別商品編（投資信託46ファンド68本、2024年3月末時点）」を活用し、分かりやすく丁寧に説明しております。

重要情報シート

【金融事業者編】

重要情報シート（金融事業者編）

当社の基本情報（当社はお客さまに提供できる金融商品の情報は次のとおりです）

社名	とうほう証券株式会社
登録番号	東京証券取引所(金商)第36号
加入協会	日本証券業協会
当社の最新情報したウェブサイト	https://tohohsec.co.jp/

2. 取扱商品（当社がお客さまに提供できる金融商品の情報は次のとおりです）

預貯金（投資性なし）	×	預金（投資性あり）	×
国内株式	○	外国株式	○
外国債券	○	外国債権	○
特殊な債券（社債債権）	○	投資債権	○
ラップ口座	×	E F F、E T N	○
R E I T	○	その他の上場商品	C B等
保険（投資リスクなし）	×	保険（投資リスクあり）	×
これら以外の商品	列挙対象外		

3. 商品ラインナップの考え方（商品決定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

- 1) とうほう証券は銀行グループの証券会社として、地場のみなさまの豊かな暮らしをサポートするため、お客さまに商品の提供を行います。
- 2) お客さまの投資方針（目的・経費・流動性・リスク許容度など）を踏まえ、多様なニーズに対応可能な商品ラインナップを構築してまいります。
- 3) また、投資信託商品の詳細は目録に掲載しているウェブサイトを参照し、市場動向や経済情勢なども踏まえて投資判断をお願いします。

4. 支店・相談窓口

当行所在地（東京都目黒区）	電話番号 024-523-3255
（支店）・投資専用窓口	
加入会社（通称）相談窓口	特定非営利活動法人 とうほう証券（株）相談センター 電話番号 0120-64-5005
金融庁 投信サービス利用者相談室	電話番号 0570-016811（03-5251-6811）

【個別商品編】

重要情報シート（個別商品編）

一部の商品は投資信託の募集期間が満了し、募集期間が満了した後は継続投資ができません。

重要情報シート（個別商品編）

商品名：とうほう証券 2023.12.17

募集期間：2023.12.17

商品概要：この商品は、日本国内の上場株式、外国株式、外国債券、投資債権、その他の上場商品（以下「資産」）を投資対象とする。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の概要：この商品は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のリスク：この商品は、資産の運用によるリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の手数料：この商品は、資産の運用による手数料があります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の元本割れリスク：この商品は、資産の運用による元本割れリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の流動性リスク：この商品は、資産の運用による流動性リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の信用リスク：この商品は、資産の運用による信用リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の市場リスク：この商品は、資産の運用による市場リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の金利リスク：この商品は、資産の運用による金利リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の通貨リスク：この商品は、資産の運用による通貨リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のレバレッジリスク：この商品は、資産の運用によるレバレッジリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のその他のリスク：この商品は、資産の運用によるその他のリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

重要情報シート（個別商品編）

この商品は、資産の運用によるリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の概要：この商品は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のリスク：この商品は、資産の運用によるリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の手数料：この商品は、資産の運用による手数料があります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の元本割れリスク：この商品は、資産の運用による元本割れリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の流動性リスク：この商品は、資産の運用による流動性リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の信用リスク：この商品は、資産の運用による信用リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の市場リスク：この商品は、資産の運用による市場リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の金利リスク：この商品は、資産の運用による金利リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の通貨リスク：この商品は、資産の運用による通貨リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のレバレッジリスク：この商品は、資産の運用によるレバレッジリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のその他のリスク：この商品は、資産の運用によるその他のリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託提案時資料

投資信託提案時資料

2024.6.3

投資信託ラインナップ

この資料は、とうほう証券の投資信託商品のラインナップをまとめたものです。投資信託商品の詳細は目録に掲載しているウェブサイトを参照し、市場動向や経済情勢なども踏まえて投資判断をお願いします。

とうほう証券

投資信託提案時資料

投資信託に関する注意事項

投資信託の概要：この商品は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のリスク：この商品は、資産の運用によるリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の手数料：この商品は、資産の運用による手数料があります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の元本割れリスク：この商品は、資産の運用による元本割れリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の流動性リスク：この商品は、資産の運用による流動性リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の信用リスク：この商品は、資産の運用による信用リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の市場リスク：この商品は、資産の運用による市場リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の金利リスク：この商品は、資産の運用による金利リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の通貨リスク：この商品は、資産の運用による通貨リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のレバレッジリスク：この商品は、資産の運用によるレバレッジリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のその他のリスク：この商品は、資産の運用によるその他のリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託提案時資料

投資信託に関する注意事項

投資信託の概要：この商品は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のリスク：この商品は、資産の運用によるリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の手数料：この商品は、資産の運用による手数料があります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の元本割れリスク：この商品は、資産の運用による元本割れリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の流動性リスク：この商品は、資産の運用による流動性リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の信用リスク：この商品は、資産の運用による信用リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の市場リスク：この商品は、資産の運用による市場リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の金利リスク：この商品は、資産の運用による金利リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託の通貨リスク：この商品は、資産の運用による通貨リスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のレバレッジリスク：この商品は、資産の運用によるレバレッジリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

投資信託のその他のリスク：この商品は、資産の運用によるその他のリスクがあります。資産の運用は、とうほう証券の運用方針に基づき、資産の運用を行います。

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」
・原則4【手数料の明確化】に該当します。

5. お客様の意向に沿った商品・サービスの提供

<基本方針5> お客様の意向に沿った商品・サービスの提供

- (1) お客様の資産状況や取引の目的等を総合的に勘案し、お客様の資産形成および資産運用の意向に沿った、適切かつふさわしい商品・サービスをタイムリーに提供してまいります。
- (2) 市場動向を踏まえた商品の選定・見直しにより、お客様の多様なニーズに的確にお応えできるラインナップの充実に努めてまいります。
- (3) お客様に安心してお取引を継続していただくため、お預かりしている資産に関する情報提供を定期的かつ継続的に行い、アフターフォローの充実に努めてまいります。

<2023年度具体的取組方針>

- (1) 「金融商品選定専門委員会」を定期的、あるいは市場環境の変化や法令改正等の際に必要な応じて随時開催し、商品ラインナップの拡充・見直しをタイムリーに行います。
- (2) 「商品ラインナップ」は、市場動向に大きく影響を受けるリスク・リターンの高い商品だけではなく、投資経験の少ないお客様や高齢のお客様など幅広いニーズにお応えできるよう見直ししていきます。
- (3) 「アフターフォローマニュアル」・「私募仕組債事務マニュアル」に定めた基準に則り、お客様に適時適切なアフターフォロー・情報提供を行います。
- (4) お客様ご自身でお取引内容や残高等を確認頂ける「残高照会サービス」のご利用も促進していきます。
- (5) 複数の商品・サービスをパッケージとして提案・販売するにあたっては、お客様にとって相応しい商品・サービスであるかを検討・判断します。

<2023年度取組状況>

- (1) お客様の資産状況や取引の目的等を十分にお伺いしたうえで、適切かつふさわしい商品・サービスを提供しています。
- (2) お客様に合った商品をラインナップとするため、本部各々がメンバーである金融商品選定専門委員会にて多角的な視点で十分な審議を行い、商品の選定を行っております。
- (3) 2023年度には、お客様のニーズ等も踏まえ、投資信託で新規導入9ファンド10本、販売再開1ファンド1本の導入を行っております。
- (4) 営業員が、お客様の意向に沿った適切かつふさわしい商品をしっかりと提供するために、ファンド導入時には「販売想定お客様層」「リスク」を営業員に明示しております。
- (5) パッケージ化して提案・販売する商品・サービスについては、個別に購入することが可能であるか否かとパッケージ化する場合としない場合を比較することができるよう重要情報シートにてお知らせしています。

投資信託商品ラインナップ（2024年6月末現在）

カテゴリ	商品数（件）	比率
債券型	35	25.0%
国内債券	3	2.1%
内外債券	4	2.8%
海外債券	28	20.0%
株式型	69	49.2%
国内株式	13	9.2%
内外株式	36	25.7%
海外株式	20	14.2%
資産複合型	20	14.2%
内外資産複合型	17	12.1%
海外資産複合型	3	2.1%
不動産型	11	7.8%
国内不動産型	6	4.2%
内外不動産型	1	0.7%
海外不動産型	4	2.8%
その他	5	3.5%
合計	140	100%

2023年度投資信託販売上位商品

銘柄	カテゴリ
① (年3%目標払出)のむらップ・ファンド(普通型)	内外資産複合
② (年6%目標払出)のむらップ・ファンド(普通型)	内外資産複合
③ のむらップ・ファンド(普通型)	内外資産複合
④ アライアンス・パースタイン・米国成長株投信 Dコース	海外株式
⑤ インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>(毎月決算型)	内外株式
⑥ のむらップ・ファンド(積極型)	内外資産複合
⑦ 米国株式配当貴族(年4回決算型)	海外株式
⑧ のむらップ・ファンド(保守型)	内外資産複合
⑨ イーストスプリング・インド株式オープン	海外株式
⑩ 世界経済インデックスファンド	内外資産複合

市場動向を踏まえた商品選定・見直しにより、引き続きお客様の多様なニーズに的確にお応えできるラインナップの充実に努めてまいります。

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」

・原則6【顧客にふさわしいサービスの提供】に該当します。

6. お客様にふさわしいサービスを提供できる態勢の整備

<基本方針6> お客様にふさわしいサービスを提供できる態勢の整備

- (1) 研修や外部専門資格の取得奨励等を通じて、高度な商品知識や金融知識を備えた専門性の高い人材の育成に努めてまいります。
- (2) 従業員の動機づけのため、お客様本位の取組を適切に評価できる業績評価体系の仕組みを整備してまいります。

<2023年度具体的取組方針>

- (1) 研修や外部専門資格の取得推奨等を通じ、社員のコンサルティング力の向上を図ってまいります。
- (2) 社員研修等では、「お客様本位の業務運営」に関する講義時間を設け、当社の「基本方針」の周知を徹底し、お客様の利益・ニーズに資する営業活動の実践につながるよう人材の育成に努めてまいります。
- (3) 業績評価については、顧客基盤の拡大や、預かり資産残高等の継続的な拡大を評価する業績評価体系を導入してまいります。

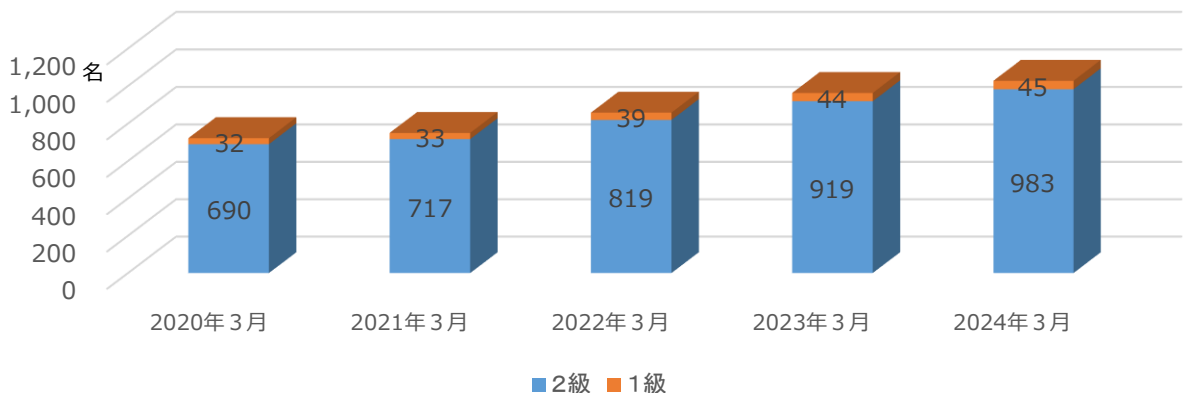
<2023年度取組状況>

- (1) 各種研修や勉強会、資格取得推奨等を通じて、販売員のスキルアップに努めております。
- (2) 各種研修で「お客様本位の業務運営」の当社の取組方針や取組状況について、周知・徹底を図っています。
- (3) 営業店の業績評価では、特定商品に販売が偏らないよう、手数料収益等による収益項目評価を撤廃し、「お客様の裾野拡大」や「預かり資産残高を重視する評価体系としております。また、「投資信託の販売における比較可能な共通KPIの指標」を評価項目に設けるなど、「お客様業務運営」に関する評価項目を評価体系に導入しております。

●資格取得保有者状況(当社のみ)

資格名	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
FP1級	2名	2名	5名	4名
FP2級	27名	30名	27名	29名

●F P保有者推移 (東邦銀行グループ)

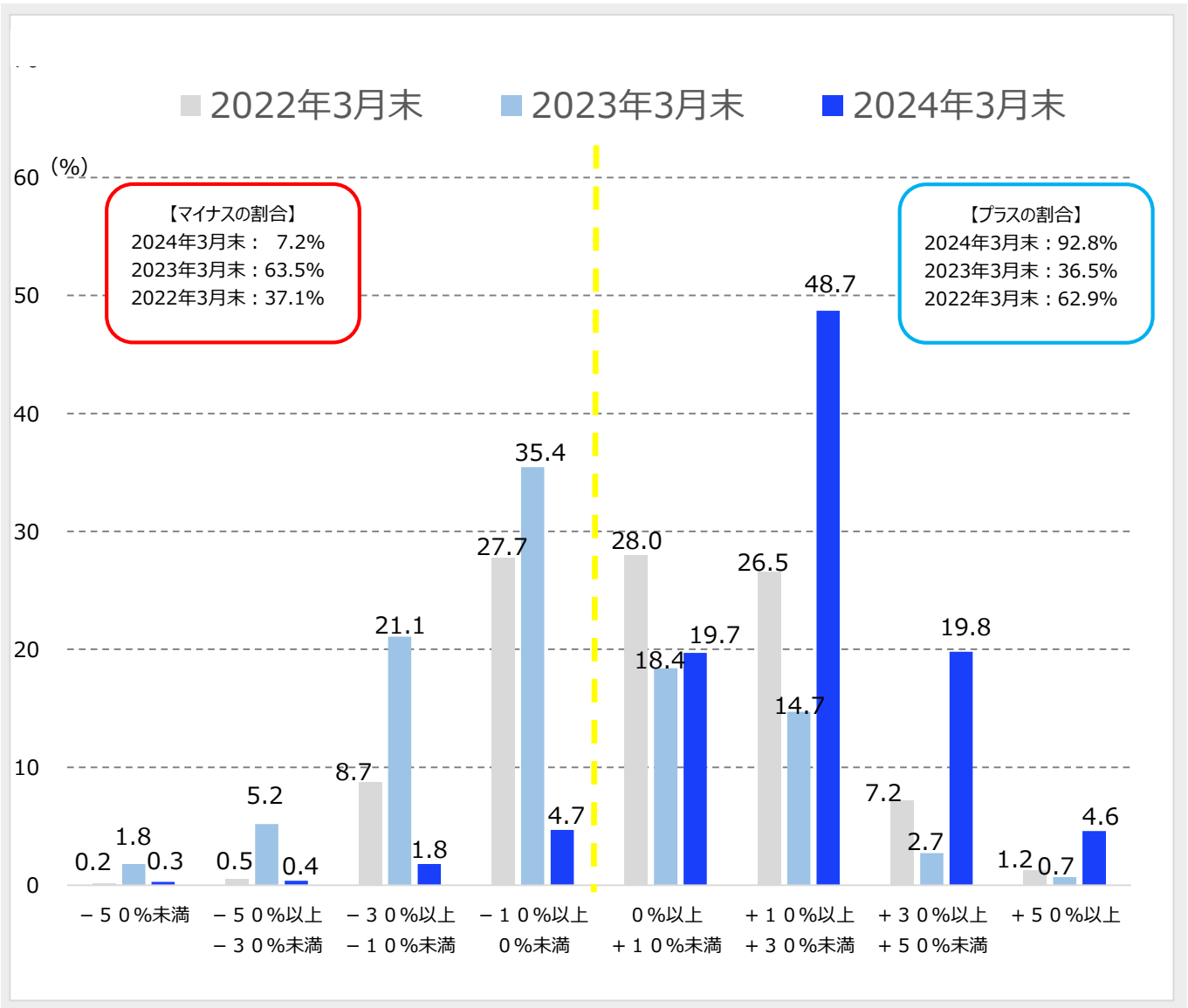


金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」

・原則7【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】に該当します。

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I」の状況について

投資信託の運用損益別顧客比率



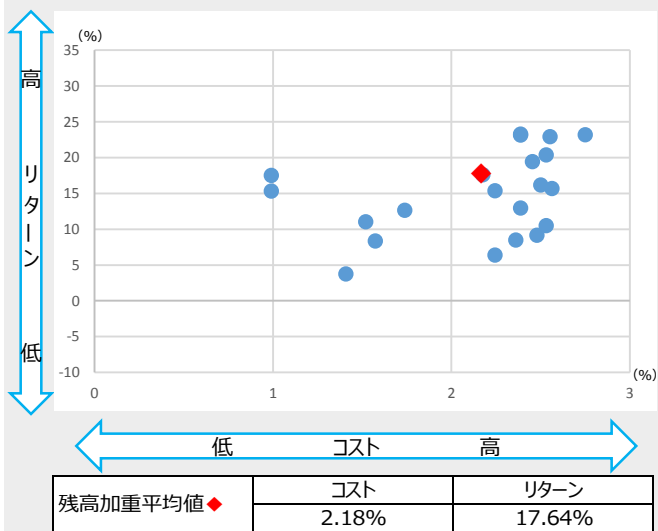
- 2024年3月末時点では92.8%のお客さまが運用損益がプラスとなりました。
- 日経平均株価が34年ぶりに最高値を更新した日本をはじめ、世界的に堅調であった株式市場を背景に2023年3月末時（36.5%）に比べてプラスの割合のお客さまは大幅に増加しました。

【運用損益の算出方法】

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日（各年3月末）時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標。この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

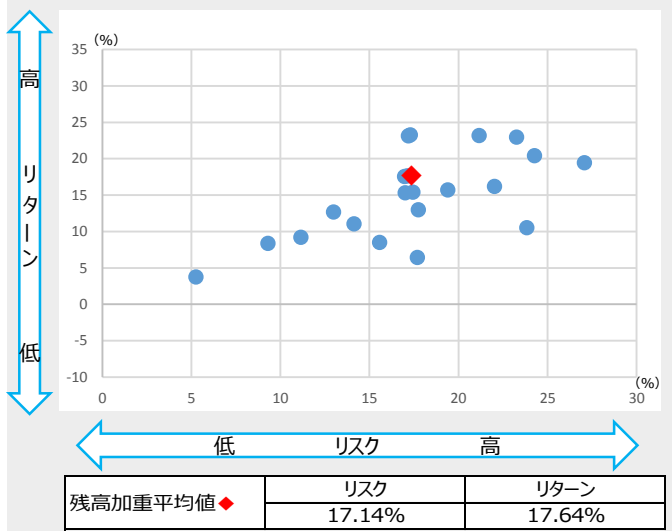
投資信託の預かり残高上位 20 銘柄の コスト・リターン

2024年3月末

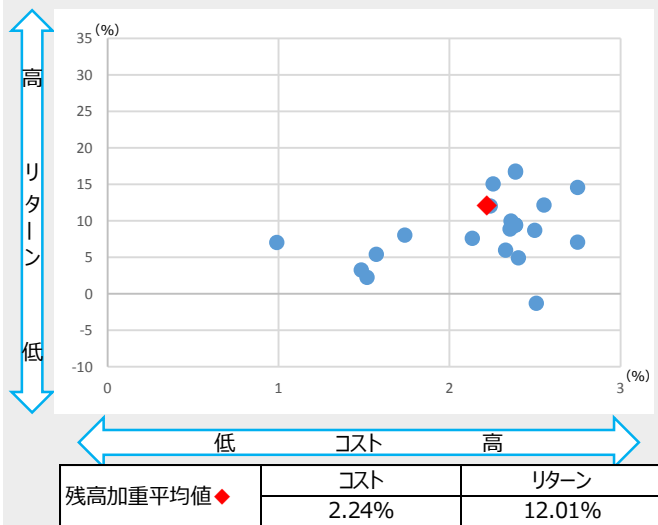


投資信託の預かり残高上位 20 銘柄の リスク・リターン

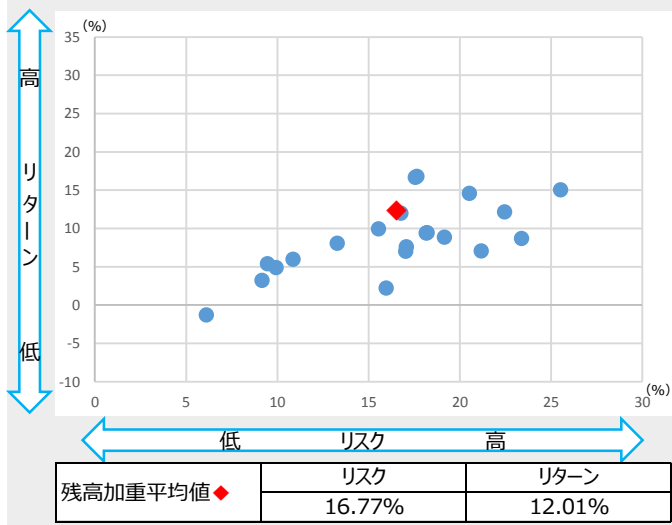
2024年3月末



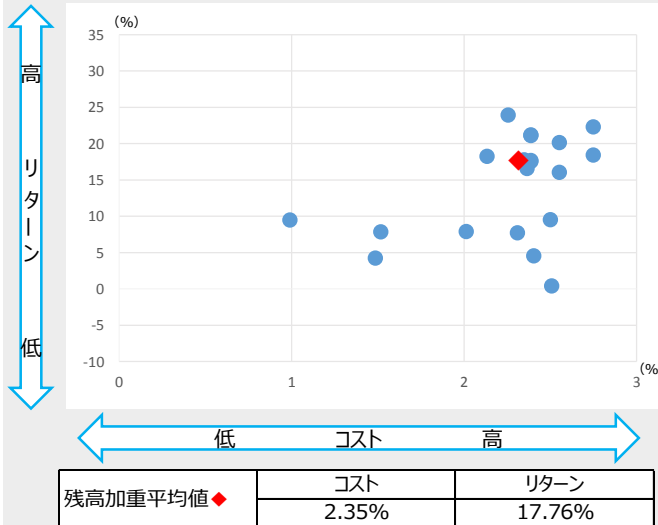
2023年3月末



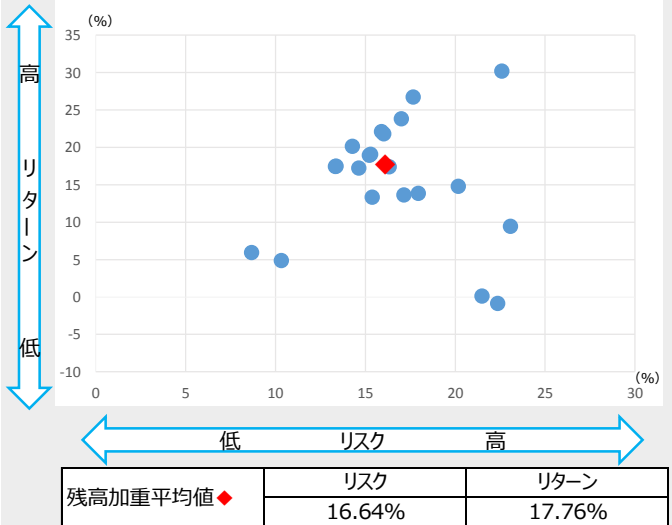
2023年3月末



2022年3月末



2022年3月末



・基準日時点（各年3月末）で設定後5年以上の投資信託の預り残高20銘柄について、銘柄毎および残高加重平均のコストとリターンの関係を示したものです。コストは販売手数料の5分の1と信託報酬率の合計値です。

投資信託の預かり残高上位 20 銘柄

・基準日（各年 3 月末）時点で設定後 5 年以上の投資信託の預かり残高です。

2024年3月末

単位：%

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39	17.18	23.15
2	のむらっぴ・ファンド（普通型）	1.57	9.29	8.36
3	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39	17.29	23.28
4	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53	24.26	20.42
5	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	2.75	21.15	23.19
6	のむらっぴ・ファンド（積極型）	1.74	12.98	12.68
7	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>（毎月決算型）	2.56	19.39	15.71
8	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99	16.97	17.54
9	イーストスプリング・インド株式オープン	2.50	22.02	16.20
10	ひふみプラス	1.52	14.13	11.06
11	のむらっぴ・ファンド（保守型）	1.41	5.25	3.76
12	グローバルE V関連株ファンド（為替ヘッジなし）	2.45	27.07	19.45
13	ニッセイSDGsグローバルセレクトF（資産成長型・為替H無）	2.24	17.43	15.41
14	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり）	2.53	23.83	10.50
15	MHAM株式インデックスファンド225	0.99	17.01	15.33
16	ニッセイAI関連株株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.55	23.25	22.94
17	野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月	2.48	11.14	9.19
18	ニッセイSDGsグローバルセレクトF（資産成長型・為替H有）	2.24	17.69	6.42
19	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.36	15.57	8.52
20	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース	2.39	17.74	12.98
	残高加重平均値	2.18	17.14	17.64

2023年3月末

単位：%

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39	17.56	16.69
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39	17.66	16.79
3	のむらっぴ・ファンド（普通型）	1.57	9.46	5.40
4	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	2.75	20.53	14.60
5	ひふみプラス	1.52	15.97	2.23
6	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース	2.39	18.16	9.40
7	のむらっぴ・ファンド（積極型）	1.74	13.28	8.06
8	MHAM株式インデックスファンド225	0.99	17.04	7.02
9	企業価値成長小型株ファンド	2.26	25.53	15.07
10	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.36	15.54	9.97
11	イーストスプリング・インド株式オープン	2.50	23.39	8.72
12	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	2.51	6.11	△ 1.28
13	ニッセイAI関連株株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.55	22.46	12.16
14	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Aコース	2.39	18.20	9.44
15	米国NASDAQオープン Aコース	2.35	19.16	8.89
16	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	2.13	17.08	7.63
17	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.40	9.93	4.92
18	netWIN GSテクノロジー株式ファンド A（ヘッジあり）	2.75	21.18	7.08
19	野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月	2.33	10.87	5.97
20	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	9.16	3.25
	残高加重平均値	2.24	16.77	12.01

2022年3月末

単位：%

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39	16.06	21.09
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39	16.15	21.21
3	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	2.75	18.24	22.31
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Cコース	2.39	15.69	17.53
5	ひふみプラス	1.52	16.07	7.83
6	ニッセイAI関連株株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.55	19.97	20.16
7	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	2.51	5.08	0.41
8	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Aコース	2.39	15.71	17.67
9	企業価値成長小型株ファンド	2.26	25.07	23.94
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンド A（ヘッジあり）	2.75	18.09	18.43
11	米国NASDAQオープン Aコース	2.35	16.83	17.36
12	イーストスプリング・インド株式オープン	2.50	23.30	9.53
13	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	2.13	17.94	18.26
14	野村未来トレンド発見ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.37	15.98	16.58
15	MHAM株式インデックスファンド225	0.99	16.42	9.49
16	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.40	9.58	4.57
17	野村リアルグロス・オープン	2.31	21.67	7.72
18	ニッセイAI関連株株式ファンド（為替ヘッジあり）	2.55	20.03	16.03
19	GS米国REITファンドBコース（毎月分配型為替ヘッジなし）	2.01	19.31	7.89
20	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	8.69	4.26
	残高加重平均値	2.35	16.64	17.76